

# 令和元年度学校保健研修会・学校歯科保健研修会

本年度も学校保健及び歯科に関する今日的課題について理解を深めるため、南北2会場で研修会を開催しました。

北部会場 106名、南部会場 139名、計 245名の参加がありました。

1 主催 京都府教育委員会 一般社団法人京都府歯科医師会

2 日時・会場

(北部) 令和元年8月2日(金) 13:00~16:30 中丹文化会館

(南部) 令和元年7月26日(金) 13:00~16:30 京都府歯科医師会口腔保健センター

3 対象者

京都市立を除く府内公立幼稚園、認定こども園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校及び特別支援学校の学校保健関係者

4 概要

(1) 説明「学校保健の現状と課題」保健体育課指導主事

(2) 平成30年度健康教育指導者養成研修受講報告

『保健教育の在り方』 京丹波町立和知中学校 養護教諭 吉田 芳子先生

『保健管理の在り方』 京都府立網野高等学校 養護教諭 杉本 奈津子先生

『保健教育の在り方』では、インプットとアウトプットのバランスの大切さや、保健教育のポイントについて、また、実践的な内容としては、マンダラやフィッシュボーン法について説明していただきました。



『保健管理の在り方』では、健康観察のポイントとロジックツリー、ファミリーマップ、ブレインライティングの紹介や学校管理下の突然死から学校生活管理指導表の遵守の大切さについて報告していただきました。

### (3) 講演

(南部会場)

『献血セミナー』 京都府赤十字血液センター 献血課係長 中野 真也 氏  
京都府栄養士会 管理栄養士 宮崎 圭子 氏

「アンパンマンのエキス」という献血の必要性を訴えるビデオや、献血の現状や献血の課題また高等学校等での献血セミナーの実施について説明していただきました。また京都府栄養士会 管理栄養士 宮崎 圭子氏より、栄養面より献血との関連性について食事の重要性、生活診断結果、サプリメントや野菜ジュース等の補助食品について大学生の実態も交え説明していただきました。生活習慣を含め日々の食事を見直すきっかけになり、保健教育へと繋がるお話でした。



『歯科保健研修会』では「子どもたちの歯と口の健康づくり」について府歯科医師会学校歯科部会部員 上原久晴氏に講演していただきました。

昭和に比べ、食事の時間と噛む回数が半減していることや外遊びの時間が減っていることから筋力が低下していること、口や舌の筋肉が歯並びに影響していることや鼻呼吸ができず口呼吸の子どもが増加していること等、児童生徒の実態や口呼吸が健康に及ぼす影響について話していただきました。口や舌の筋力を付けるための方法を紹介していただき、受講者から保健指導や保護者への啓発に活かしたい内容でした。

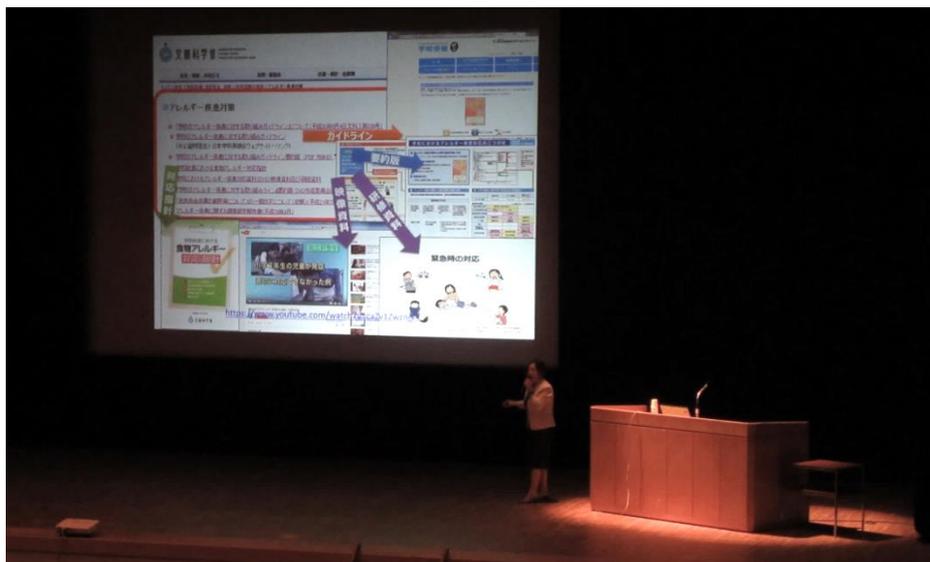


(北部会場) 学校保健研修会

『現代的健康課題を抱える子供たちへの支援～養護教諭の役割を中心として～』

文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課 健康教育調査官 松崎 美枝 氏

全国の保健室来室状況の調査結果から分析された内容や演題の冊子についての説明がありました。日々の健康観察の大切さや家庭・地域・関連機関等との連携、チーム学校として組織的に活動することの重要性を再確認する機会となりました。文科省から直接の最新保健情報が知れたことは2学期以降の学校保健活動に生かせるものでした。



『若年者の斜視と治療』について、京都第二赤十字病院眼科部長の溝部医師より、斜視の種類や症状、治療、手術の時期など専門的な内容を写真や動画を見せていただき、大変わかりやすく説明していただきました。斜視は、首の傾きや姿勢にも関係すること、眼精疲労や心の疲れがあること、またスマホや IT 機器の影響でも後天性の斜視が起こること等初めて知ることも多く、専門的な知識を深めることができました。

